

SDGsの全てを統合・網羅している 6年間の実践計画表

江東区立八名川小学校

<p>【持続可能な社会の創り手を育てる】</p> <p>目標 4 質の高い教育を全てのの人に</p>		<p>主体的・問題解決的な学び、(学びに火をつける指導) 教科横断的・統合的な学び、(ESDカレンダーの活用) 対話的・協働的な学びの重視 (伝え合う場の設定)</p>	
<p>環境</p> <p>目標 2 飢餓をゼロにする 3年 食べ物から見える世界、5年 これからの食料生産とわたしたち、 4年 水を守れアースレンジャー</p> <p>目標 7 エネルギーをみんなにクリーンに 2年 うごくくく、わたしのおもちや 5年 カーボンマイナス子どもアクション</p> <p>目標 11 安全で災害に強いまちづくり 3年 地域安全マップをつくろう 5年 今やろう、地震への備え</p> <p>目標 13 気候変動対策 5年 カーボンマイナス子どもアクション 百年後のふささと、地球温暖化・森が消えていく</p> <p>目標 14 海の豊かさ 5年 日本の水産業、岩井臨海学校 (遠泳・地引き網・フランクトン)</p>		<p>ESD</p> <p>目標 1 貧困をなくす 3年 食べ物から見える世界、5年 これからの食料生産とわたしたち、</p> <p>目標 3 健康と福祉 4年 やさしさパワーアップ大作戦(串いし/バスケット/介護体験等)、 4年 大きくなってきた私(2分の1・成人式)</p> <p>目標 5 ジェンダー平等の実現 2年 あしたへジャンプ 4年 心の信号機、手と心で読む、</p> <p>目標 8 経済成長と人間らしい仕事 6年 未来へ羽ばたけ(キャリア教育の視点から)</p> <p>目標 16 平和で公正な社会と行政 6年 私たちの願いを実現する政治、世界を知り私たちにできることを発信しよう、</p>	
<p>目標 6 安全な上下水の保障</p> <p>目標 9 産業と技術革新の基盤づくり 5年 エコプロダクツ展参加 5年 環境の視点で工業を見直そう</p> <p>目標 12 持続可能な生産と消費 4年 こみと私たちのくらし 5年 これからの食料生産とわたしたち</p> <p>目標 15 陸の豊かさ 1年 生き物となかよし、楽しさいっぱい秋いっぱい、 2年 ザリガニの赤ちゃんおしく育て、わたしの野菜 3年 ヤゴ救出大作戦 全学年 俳句づくり</p>		<p>多文化理解(国際理解)</p> <p>目標 10 人や国家間の平等 2年 ときどきわくわく町探検、町のひみつを知らせたい 3年 香の香らしたんげんたい、 4年 さがそう深川未来遺産 5年 江戸・深川の町を語ろう</p> <p>目標 17 世界の協力とパートナーシップ 2年 あしたへジャンプ、 4年 留学生との楽しい時間 6年 世界を知り、できることを発信しよう、 全校体制 ESDに取り組み、国内外に向けて発信や交流を進める</p> <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD 世界を変えるためのSDGs17の項目は、ESDの16の具体的な目標</p>	

ために必要なハード面の整備については、国が児童生徒1人1台の学習用パソコンを配備する方針を打ち出しており、本市としても、その動向を注視してまいります。』との答弁でした。

千代田区の麹町中学校では、AI型タブレット教材「キユビナ」を、2018年の2学期から導入。年間指導計画に基づき従来の数学の授業時間は60〜70時間ありましたが、それがどの学年でも約2倍の進度になり、約半分の授業時間で修了したといえます。テストに丸つけをして生徒に返していた今までは、教師の手元に記録されるのは点数だけでした。それが『キユビナ』を使うと記録が逐一残るため、間違えた問題だけを指導できます。こういった先進事例を参考に、より高いICT教育環境の整備に向けて行くことを期待しております。

持続可能な社会の創り手

SDGsを学ぶ場をこどもたちに

ESDは Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。学習指導要領の改訂で「持続可能な社会の創り手」の育成という文言が追加されました。今世界には環境・貧困・人権平和、開発といった様々な問題があります。

ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。近年、認知を高めているSDGs(2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標)と強い関係性があります。そこで、ESDについて、本市としてのよううに考えているのか、質問を致しました。

教育委員会より『新学習指導要領においても、全文および総則に持続可能な社会の作りの育成を掲げ、各教科において関連する内容が盛り込まれています。また、主体的な学びとESDとの関連性が深いことから、本市におきましても、引き続き、体験的な学習や問題解決的な学習の充実及び習得・活用・探究の学習プロセスや主体的・対話的で深い学びの実現に努めてまいります。』との答弁を得ました。

次に、学習材料としてSDGsを題材とすることについての見解を問いました。教育委員会より『SDGsは17の目標が示されており、その内容も環境・福祉・国際理解・人権など多岐にわたり、学校教育との関連性も高く、それらを学習の題材として、教科横断的に取り上げることが大変有益であると認識しています。』との前向きな答弁を得ました。

是非とも、SDGsについて、学校場で学ぶ機会を担保していただきたいと思えます。

編集後記

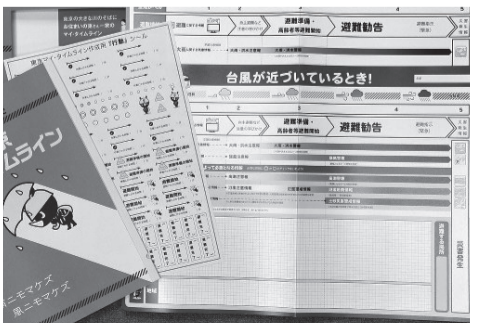
オリンピックイヤーの2020年(令和2年)がやってきました。2020年の干支(えと)は「庚子(かのえ)」。庚子は、十干(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)の10の要素の順列で「庚(かのえ)」、十二支で「子(ね)」に相当します。庚と子の特徴をあわせもつ庚子の年は、一言で表すと、「変化が多い年」になると言われています。2020年といえば、東京オリンピック・パラリンピックは外せません。宿泊、輸送、観光など周辺各方面でも大きな変化が起きます。本市としても様々な想定を行い、対策を行う必要があると思います。是非、本市市民にとって楽しいオリンピックとしたいです。

マイ・タイムラインの導入を！

災害時に命を守る二人ひとりの行動計画を『マイ・タイムライン』とは、平成27年9月に起きた関東・東北豪雨の鬼怒川の氾濫による被害を教訓に、常総市や国土交通省等が、犠牲者ゼロの目標に向けて始めた取り組みです。具体的には、台風の接近によって河川の水位が上昇する時など、洪水時に自分自身がとる防災行動を時系列的に整理し、取りまとめる行動計画表です。そこで、市民のマイ・タイムラインについて市の取り組み状況を伺いました。

担当の総務部長より『台風等の接近に際して、被害を減らすとともに、避難に備えた行動を、一人ひとりがあらかじめ決めておくことは、重要なことと考えております。現在、市としては、市民向けの防災講話などにおいて、マイ・タイムラインの作成を啓発してまいります。』との答弁でした。

現在、東京都では、都内の全ての児童生徒に東京マイ・タイムライン(小学生向け)を配布し、子供から家庭へ、そして地域全体へ普及推進していく手法をとっています。ぜひとも、本市としても先進事例を積極的に取り入れてほしいと要望しました。



▲東京マイ・タイムライン

柳きいちろうへの連絡はこちらからお願いいたします。
住所 279-0013 浦安市日の出 1-3-3-1203
TEL 050-3630-8791
E-mail kiichiro.yanagi@gmail.com